

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公開番号】特開 2011-135558 (P2011-135558A)

【公開日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報 2011-027

【出願番号】特願 2010-212399 (P2010-212399)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/40 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/40 Z

H 0 4 N 1/40 D

H 0 4 N 1/46 Z

B 4 1 J 5/30 C

B 4 1 J 3/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 14 日 (2014.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の領域に記録すべき画像の色を示す色情報を取得する取得手段と、
前記取得手段により取得された前記色情報に基づいて、前記所定の領域に対して前記記録材を付与するためのデータを生成する生成手段と、

を備え、

前記生成手段は、前記色情報が黒ではない所定の色を示す場合に前記所定の領域に対して付与する記録材の量を低減する比率が、前記色情報が黒を示す場合に前記所定の領域に対して付与する記録材の量を低減する比率よりも低くなるように、前記データを生成することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記所定の領域は、所定の属性を示すオブジェクトのエッジ部の内部の領域である非エッジ部であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記所定の属性は、文字または線画であることを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記生成手段は、前記色情報が黒を示す場合、前記所定の領域に対して黒の記録材を付与するためのデータを生成し、前記色情報が黒ではない色を示す場合、前記所定の領域に対して前記黒の記録材とは異なる色の記録材を付与するためのデータを生成することを特

徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の画像処置装置。

【請求項 5】

前記記録材はインクであることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記生成手段は、マスクパターンを用いて前記所定の領域に対して前記記録材を付与するためのデータを生成することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

所定の領域に記録すべき画像の色を示す色情報を取得する取得工程と、

前記取得工程において取得された前記色情報に基づいて、前記所定の領域に対して前記記録材を付与するためのデータを生成する生成工程と、

を備え、

前記生成工程において、前記色情報が黒ではない所定の色を示す場合に前記所定の領域に対して付与する記録材の量を低減する比率が、前記色情報が黒を示す場合に前記所定の領域に対して付与する記録材の量を低減する比率よりも低くなるように、前記データを生成することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 8】

コンピュータを、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置として機能させるプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の画像処置装置は、所定の領域に記録すべき画像の色を示す色情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された前記色情報に基づいて、前記所定の領域に対して前記記録材を付与するためのデータを生成する生成手段と、を備え、前記生成手段は、前記色情報が黒ではない所定の色を示す場合に前記所定の領域に対して付与する記録材の量を低減する比率が、前記色情報が黒を示す場合に前記所定の領域に対して付与する記録材の量を低減する比率よりも低くなるように、前記データを生成することを特徴とする。